

- ・「お茶大×カルティエ シンポジウム」開催報告
- ・学部授業「お茶の水女子大学論」ロールモデル講演（1回～6回）
- ・Victoria Budson 氏 講演会 開催報告
- ・お茶大生と「ふくい女性ネット」との交流会 開催報告
- ・徽音塾 春学期・トライアル講座のご報告
- ・後期開講授業のお知らせ（グローバルリーダーシップ研究所関連）

「お茶大×カルティエ シンポジウム」開催報告

「お茶大×カルティエ シンポジウム」が、6月12日（水）13:00-15:00に、本学徽音堂において開催されました。「女性が輝く社会の実現のために」をテーマに、本学附属高校卒業生の山崎直子氏（宇宙飛行士）による基調講演に始まり、チョ・ヨンジュン氏（カルティエ ウーマンズ イニシアチブ アワード（以下CWIA）2019年度受賞者）及びレーヌ・アバス氏（CWIA 2019年度ファイナリスト）の2名によるインスピレーショントークが続き、最後は、室伏きみ子学長とヴェロニカ・プラット＝ヴァン＝ティール カルティエ ジャパン社長の対談（モデレーター 篠田真貴子氏）で幕を閉じました。

当日は、本学学生及び附属高校から約450名を中心に一般来場者を含め約650名の参加がありました。

また、質疑応答の時間には、会場から多くの手が上がり、CWIA受賞者とファイナリスト、室伏学長とプラット＝ヴァン＝ティール カルティエ ジャパン社長による活発なやりとりが見られました。

来場者からは、「アンコンシャス・バイアスに気づいて海外に行ってみたりして、もっと自分の視野を広げたいです」

「明日からまた仕事と家庭のことを頑張ろうと思いました」などの声が寄せられました。

シンポジウム終了後、カルティエ主催のレセプションが国際交流留学生プラザ2階で開催され、本学学生・附属高校生約40名が参加しました。会場では、参加学生たちが登壇者を囲み熱心に話を聞く姿が見られ、シンポジウム及びレセプション共に盛況のうちに終了いたしました。

以下URLにも開催報告を掲載しております。
<http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/news/d007349.html>

文責：長塚 尚子（グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー）



授業「お茶の水女子大学論」内で開催したロールモデル講演会の、講演者一覧と受講生からの感想を一部紹介します。

編集：大持ほのか（グローバルリーダーシップ研究所 アカデミック・アシスタント）

2019年度「お茶の水女子大学論」ロールモデル講演者一覧（所属等は講演時のもの）

児嶋 佐和子さん（6/12）	1998年 理学部物理学科卒	スリーエム ジャパン株式会社 製品責任部
三浦 亜紀子さん（6/19）	2009年 理学部数学科卒 2011年 理学専攻数学コース修了	東日本旅客鉄道株式会社 IT・Suica事業本部
島田 佳子さん（6/26）	1986年 家政学部家庭経営学科卒	独立行政法人 国民生活センター 相談情報部
金平 佳乃さん（7/3）	2000年 生活科学部生活環境学科食物 科学専攻卒 2002年 人間文化研究科ライフサイエ ンス専攻修了	株式会社 ニチレイフーズ 研究開発部
野村 浩子さん（7/10）	1984年 文教育学部国文科卒	淑徳大学教授・ジャーナリスト （元・日経BP社「日経WOMAN」 編集長）
鈴木 安由子さん（7/17）	2013年 文教育学部人文科学科地理学 コース卒	静岡県庁

受講生からの感想（一部抜粋）

- お仕事との向き合い方、仕事に大切なこと、キャリアに関することから、家でのスケジュール、家族との関わりなどを話していただき、自分がどう生きるか考える機会になった。
- あまり将来のビジョンがはっきりしていないからこそ、先輩方のロールモデル講演を聞かせていただくことで、卒業後の道にはこういうものがあるのか、と知ることができて参考になりました。
- グローバル化に伴って、英語は必要だということを改めて認識したが、それ以上にまずは日本語で自分の考えを説明することが大切だと分かりました。
- 将来に役に立つか、立たないかで取り組むものを決めるのではなく、幅広く挑戦していきたいと思いました。
- 子育ての実態と実感を聞いたのも、貴重な体験だった。
- 自分の専門分野がどうかではなく、どれほどそれに対して深く掘り下げられたか、どのように自分なりの結論を導いたかという「過程」を大切に、これからの4年の勉強を大切にしたいと思います。



ロールモデル講演の様子

Victoria Budson 氏 講演会 開催報告

米国ハーバード大学ケネディスクール「女性と公共政策プログラム」(Women and Public Policy Program)の設立者の一人であり、エグゼクティブ・ディレクターであるVictoria Budson氏の講演会を6月28日(金)に国際交流留学生プラザにて開催した。平日の午後という時間帯にも関わらず学内外から約80名の参加があった。

今回の講演会はSkypeを利用して東京とボストンをリアルタイムでつなぎ、通訳は介さないという新しい試みであったが、当日は学生が英語で活発に質問する様子が見受けられた。Budson氏は“The Year of the Woman? Women’s Political Participation in the United States”(女性たちの年? 米国における女性の政治参加)というテーマでご講演下さり、司会は本学の申琪榮准教授が担当した。

「女性と公共政策プログラム」は「ハーバード広場から大統領執務室へ(FROM HARVARD SQUARE TO THE OVAL OFFICE)」という言葉掲げている。講演会では、これまでに64か国650人がプログラムを受講し、卒業生たちが実際に政

治家として世界各地で活躍していることが紹介された。こうした卒業生たちが現役の受講生のためのロールモデルとなり、受講生を政治の世界に送り出すためのパイプラインになっているという。他には、史上最年少の女性下院議員オカシオ＝コルテス氏をはじめ、昨年の米国中間選挙は“Notable Firsts”に富む歴史的な結果であったことなども解説頂き、活気に満ちた講演会となった。

文責：岡村 利恵 (グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

女性議員を輩出するためのケネディスクールの最高のプログラムとは？
より良い未来を築くための女性の政治参加について考えます。

講演会
The Year of the Woman ?
Women's Political Participation
in the United States
女性たちの年? 米国における女性の政治参加
Victoria A. Budson

ハーバード大学ケネディスクール
「女性と公共政策プログラム」
エグゼクティブディレクター

日時：2019年6月28日(金) 13:30~14:30 (受付13:00~)
会場：お茶の水女子大学 国際交流留学生プラザ 多目的ホール(2F)
参加：学生・教職員・一般
言語：英語 通訳はありません。当日はわかりやすい英語でご講演頂きます。

主催
お茶の水女子大学
グローバル女性リーダー育成研究機構
グローバルリーダーシップ研究所

お申込みは右のQRコードから
要事前申込 申込締切日 6/26 (水) 15:00
問合せ先 info-leader@ccc.ocha.ac.jp



お茶大生と「ふくい女性ネット」との交流会 開催報告

7月10日(水) 15:00-16:20、お茶の水女子大学と協定を結んでいる福井県の企業で働く女性たちのネットワーク「ふくい女性ネット」の方々と、本学学生との交流会を開催しました。

福井県からは、製造業、販売業、ホテル業、金融サービス業、情報通信業など様々な業種に携わる14名の女性が参加されました。本学からは11名の参加がありました。

まず福井県庁職員の方による、福井県についての紹介・女性の就業状況等の説明があり、その後交流会が行われました。交流会では、活発な意見や質問が交わされ、和やかかつ活気に満ちた雰囲気となりました。

参加学生からは、「和やかな雰囲気です学生と福井の方々と交流ができた」「職場の環境だけでなく、福井県としての魅力や大変さ、またご家庭

についても聞くことができ、より具体的に働くことについてイメージできた」等の感想が寄せられ、充実した会となりました。

文責：西澤 千典 (グローバルリーダーシップ研究所 アカデミック・アシスタント)



徽音塾 春学期・トライアル講座のご報告

5月11日（土）にお茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾の開講式が行われました。記念すべき令和元年度の開講式は、竣工したばかりの真新しい国際交流留学生プラザで行われました。室伏きみ子塾長（学長）の告示に続き、音楽科の合唱団による、校歌「みがかずば」の格調高い斉唱が、めでたい門出に華を添えてくれました。

5月講座「女性のエンパワーメントとリーダーシップ」では、様々なキャリアを経てきた講師達が、女性リーダーにとって必要な視点や課題克服のヒントを示してくれました。続く6月講座「リーダーシップ実践／異文化コミュニケーション」では、グループワークを行う中で、自分らしいリーダーシップのあり方を検討する貴重な機会を持ち、塾生は体験から多くの学びを得ました。



開講式の集合写真



5月講座の様子



6月講座の様子

今年度は徽音塾初の試みとして、「トライアル講座」を3講座新設しました。4月「ジェンダー・エクイティをめざして」、7月「『パーソナルブランド』を作ろう!」、8月はビジネスパーソンへの教養として「東アジアにおけるリーダー像の伝統と思想」を開催し、グローバルリーダーシップ研究所の教員（元教員も含む）が担当しました。

レポートの提出が不要の単発講座で気軽に受講できたため、延べ44名の方がお申し込みくださいました。来年度以降もビジネスパーソン向けの教養講座を開催する予定です。

9月からは秋学期講座「企業会計」「マーケティング／経営戦略」を開催します。

徽音塾HP：<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>

文責：林有維（グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー）
森 暁子（同 特任アソシエイトフェロー）

後期開講授業のお知らせ（グローバルリーダーシップ研究所関連）

グローバルリーダーシップ研究所では、2019年度後期に以下の授業の開講を予定しています。学生の皆さんの積極的な受講を歓迎します。*入学年度によって科目コードが異なりますので注意してください。

授業名	開講時期	内容
女性のキャリアと経済 [19N0092] ／女性リーダーへの道（ロールモデル入門編） [19N0003]（学部）	火曜 9・10限	経営・金融・公的機関など第一線で活躍中のゲスト講師の講演から、仕事やキャリア展開を考える授業です。
ファシリテーション [19N0093] ／女性リーダーへの道（実践入門編） [19N0004]（学部）	火曜 7・8限	企業から出された課題に対し、グループで解決案を策定し、プレゼンしてもらいます。このプロセスを通してファシリテーションの手法を身につけます。
未来起点ゼミⅡ [19N0221]（学部） ／未来起点研究Ⅱ [19S0271]（大学院）	隔週木曜 9・10限	株式会社ブリヂストンと連携して、未来を創る人材を育成するプログラムです。
アカデミック女性リーダーへの道（実践編） [19S0132]（大学院）	1・2月集中 （4日間）	研究申請およびプレゼンテーションの知識やスキルを高める授業です。
キャリア開発特論（基礎編） [19S2006]（大学院）	集中	外資系コンサルティング会社のアクセンチュア株式会社との協力で行う、仕事・キャリアについて学び、考える講座です。
グローバル女性リーダー特論（応用編） [19S2011]（大学院）	集中	アクセンチュア株式会社と協力して行う授業です。多様な働き方やグローバル人材について学びます。

【発行元】 国立大学法人お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 人間文化創成科学研究科棟506室
Tel/Fax: 03(5978)5520 E-mail: info-leader@cc.ocha.ac.jp
URL: <http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/>